

メール文書からの感情等の特徴抽出について

200912012 小原 聡也

メールというものは様々なところで使われており、そのメール文章には 相手の喜怒哀楽等の様々な感情が含まれていることが多い。

人間の場合、メールの文章を読めばそのメールに含まれている相手の感情を多少は理解することができるだろう。

過去の研究で、プログラムの文章の解析を行い、感情等の特徴抽出を試みたものがあり、コンピュータでメール受信時に自動的に文章中の感情を判断してくれれば、多数の人からのメールが溜ってしまっただけにどの人から優先的に返信すれば良いかを考える時の判断材料にすることができると考えた。

本研究では、過去の研究で考察された、3つの文章を解析する方法をもとに、メールの文章から相手の感情等の情報を抽出する方法を考察する。最終的に、受信したメールを自動的に解析し、評価するプログラムを作ることを目標とする。

fvwm2 での操作と画面情報の音による表現に関する考察

200912016 工藤 寛

コンピュータの画面にはウィンドウとボタンがあるが、視覚障害者にとっては、コンピュータの画面情報を音で表現することが必要である。

現在は MS-Windows 上で画面情報の読み上げソフトが使われているが、MS-Windows より UNIX の方が種々のカスタマイズができ、視覚障害者にはその方がよいと考えられる。

本研究では、UNIX 上のウィンドウマネージャの 1 つである fvwm2 の操作や画面情報を音で表現することで視覚障害者向けに実用化できるかを考察する。